

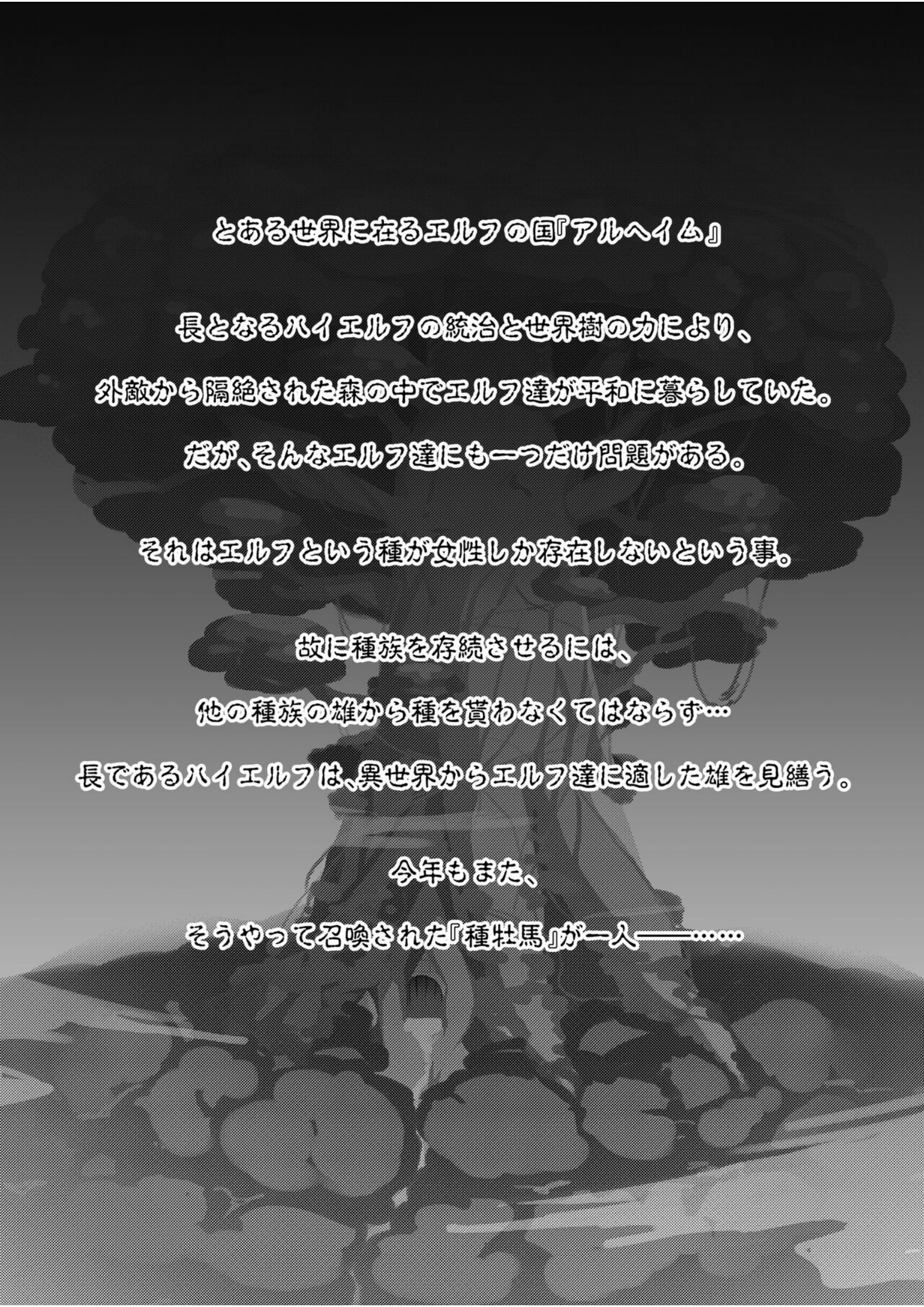


エ
ル
フ
の
国
の

種
牡
馬

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



とある世界に在るエルフの国『アルヘイム』

長となるハイエルフの統治と世界樹の力により、
外敵から隔絶された森の中でエルフ達が平和に暮らしていた。

だが、そんなエルフ達にも一つだけ問題がある。

それはエルフという種が女性しか存在しないという事。

故に種族を存続させるには、

他の種族の雄から種を貰わなくてはならず…

長であるハイエルフは、異世界からエルフ達に適した雄を見繕う。

今年もまた、

そうやって召喚された『種牡馬』が一人——……

いつも通りに
通勤路を歩いて
いたはずだったのに…

気が付くと私は
見知らぬ世界へ
誘われていた…

良くぞ
来てくれた

歓迎するぞ、
ヒトの仔よ

早速で悪いが
そなたには…

もちろん相手は
そなたが自由に
選んでくれて良い

アルヘイム
この国の存続の為に
エルフの民へ子を
授けてほしいのじゃ

この場に居る者は
全員そのつもりで
集まっておる者達だ



…あつ

ほっ、ホントに
妾で良いのか？

あつい、いや…
別に妾が嫌という
訳ではないが…

だ、だが他の者たちに
比べて妾は身体つき
も貧相であるし…

男性は豊満な
身体を持つ者を
好むとも聞くし…

そ、そなたとて
こんな身体では…

ド
ッ

ド
ッ

ド
ッ

ド
ッ

もじっ

もじっ



ひゃっ…
…えっ？

こ、こしが男性器…っ？
ぶ、文献で見たモノ
より何倍も大きいぞ…

ね、妾の裸体に
反応してこんな…？

そ、そういう
もののなか…？

そ、そう言われると
急にこの男性器が
愛おしく思えてきて
しまうな…

そ、そういう
事ならば…
仕方ないの♡

妾が責任を
持つてそなたの
男性器を可愛がって
やらねばな♡

んっ…
くう…

むう…さ、流石に
この大きさでは
全部咥え込むのは
難しいか…？



しょ、食道に
直接流し込まれて
くるう…っ

す、凄い量と
濃度の精液じゃ…

あっ…あああ
すいませんっ！

セレスティンさん
のお口が気持ち良
すぎてつい…

ごほっ…
ま、まあ良い…

頭を掴まれたのは
少し驚いたが…

勿論、これで
終わりには
せんのだろう？

ここからが
本番…
なのだからな♡

ああ…♡
この雄の匂いを
嗅いでいるだけで…

ほんと
女陰が…
女陰が疼いて
たまらぬ…♡



いえその...
せっかくなので...

セレスティンさんの
乳首をぜひ一目
拝んでおきたいと
思いました...

うん...
なかなか出てきて
くれないですね...

あ...
当たり前じゃ！
妾の乳頭はもう
長い事陥没した
ままなのだぞ...

一朝一タで
どうにかなるなら
妾とて悩んだり
する事も...っ



仕方ないですね、
少し強引ですが…

へっ…？

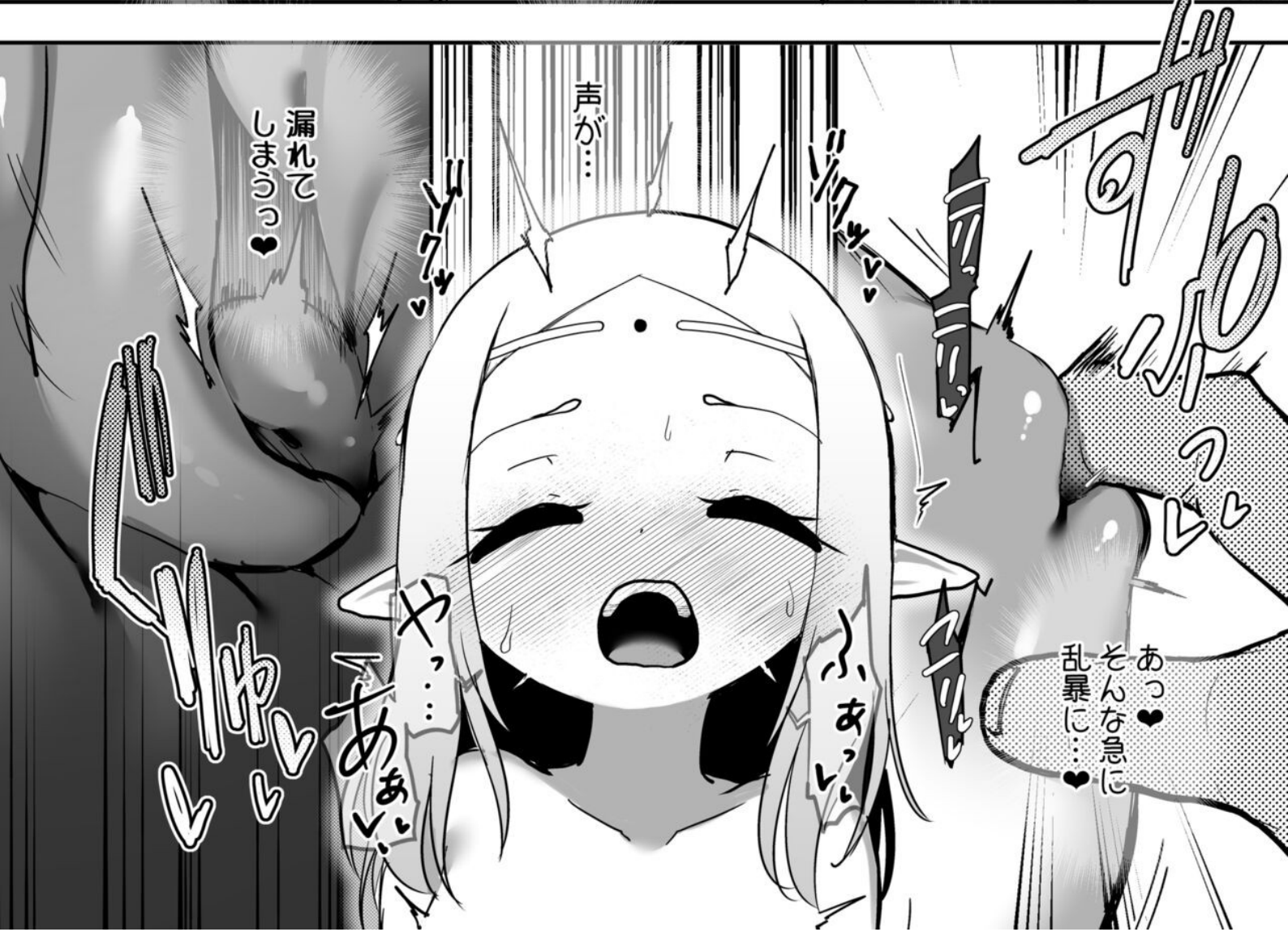
あっ…

先っぽそんな
舐め…ん♥

あ…っ
舌が入って…

あっ♥

あっ♥



誰かに乳房を
弄られるのが
こんなに…あつ♡

駄目じゃこんなの…っ
癖になってしまふ…♡

ちゅわうわうわ

あつ！見て下さい、
セレスティンさんの
乳首が少しだけ
出てきましたよ！

ッ…♡
いつ、言う
でない…っ♡

ここまで来れば
もう一息ですね

少しだけ
我慢してて
くださいね？

このまま
一気に引っ張り
出しますよ！

…へっ？

な、何を…





こっ、これ以上の
事をされたら...

ああ...
乳首だけで
こんな...♡

こんな...は、
はしたなく達して
しまうなんて...

妾は...妾は
一体どうなって
しまふのじゃ...?

あ...

はあッ

はあッ
はあッ

あぁっ!? だっ、
大丈夫ですか
セレスティンさん!

す、すみません…
少しやりすぎて—

はぁっはぁっ♡
だっ、大丈夫じゃ…

妾は大丈夫…
だから…っ

早く…
それを…
妾にっ♡

もう…もうっ、
女陰が疼いて…!
堪らんのじゃ…ッ♡

ビキッ

ビキッ

オ…

ロ

ト

はぁっ

はぁっ

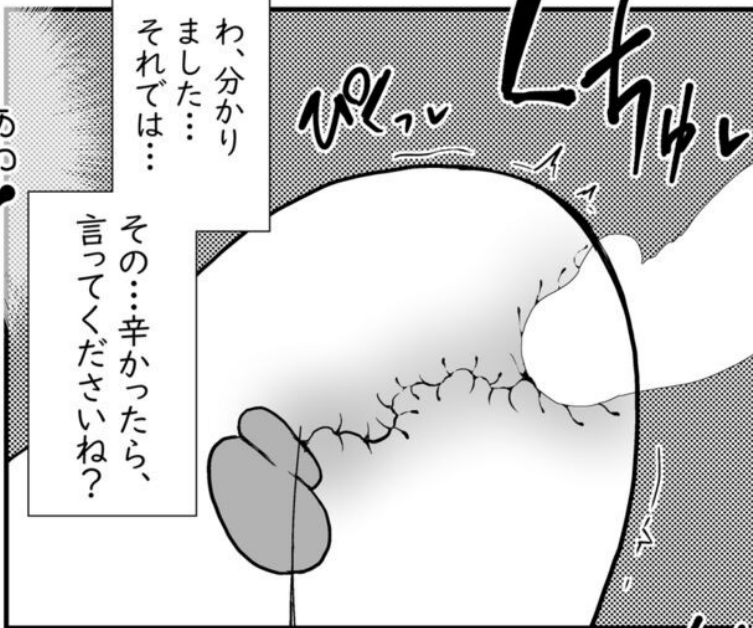


妾の膣内に…
挿入って…

あつ…
来る…

わ、分かり
ました…
それでは…

その…辛かったら、
言ってくださいね？



お、大きい…
太い…



へっ…
平気…じゃっ

だから…
そのまま…
最後まで…

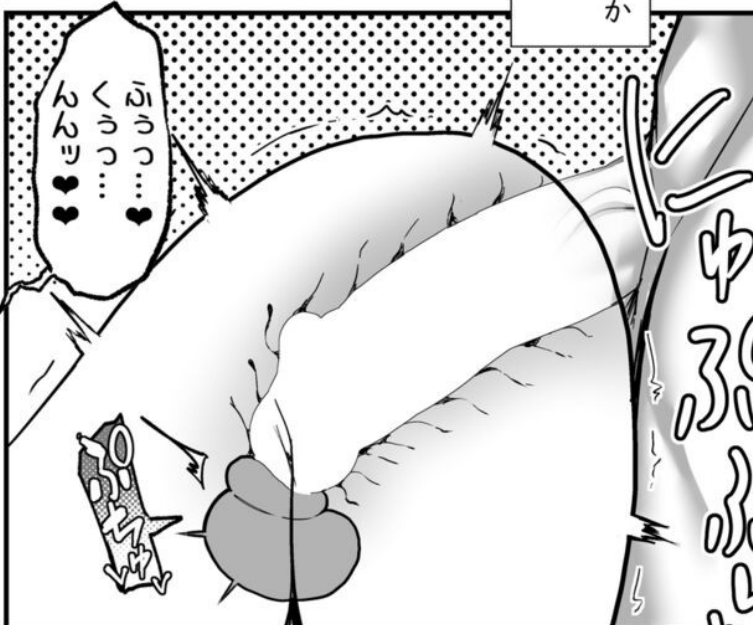
だ、大丈夫ですか
セレスティン
さん…？

…
この感触は…



あつ…
お、奥に…

性器の先が…
妾の子宮まで…



ふっ…
くっ…
んっ…

…
この感触は…

ふう…っ！
もう少しで全部
入りますよ…

あと一息
なので…

踏ん張って
下さい…ッ！

あっ、そんな
待つ

へっ…？
う、嘘…

っ…はあ…！
せ、セレスティンさん！
全部入りましたよ！

す、凄いです！腔内が
チンポをぎゅうぎゅうと
締めてつけてきますッ！

小刻みに痙攣
していてまるで…
——って、アレ？

あ、あの…
セレスティンさん…？

もしかして
もういつて…？

はあ…っ♡
ね、妾のこひよは
き、気にしなくて…
良いから…あ♡

そのまま…
そのまま…
最後まで…っ♡

ゴク…

っ…!!
わ、分かりました…

このまま…

動きますよ！



はあっ、はあ……っ！
せ、セレスティンさん
の膣内凄……ちんぽ
溶けそうだ……！

ごめんなさい……っ
もう、射精……ます……！

あうっ♡

あっ♡

いっ♡

そのままっ♡

くう……
で、でるッッ！

はあっ

あっ

あっ

あっ

あっ

あっ

あっ

あっ

わらわも……♡
わらわもずっと
イッてるからあ♡

はあっ

あっ

わらわの子宮
全部そなたの……

そなたの
子種で……
いっばいっ♡

はあっ



まだ子宮
あふれちゃい

はー

はー

子供を作るんですもの、
一回で終わらせる訳
にはいきませんよね…

セレスティンさん！
このまま
もう一度…ッ！

へっ？
う、嘘…

まだ
こんな…

ま、待て！
妾まだ…っ

クソッ

ビクッ

オッ

クソッ



こ、此奴の
種袋は
底なしかっ!?

衰えるどころか
ますます大きく
なっておる…!!

あつ♡まつ、
待てそんな…

これ以上は…
妾の女陰が…



ばっ、馬鹿に
なってしま

お腹の奥まで
押し広げられて…

妾の女陰も膣も…
此奴の形に変えられて
しまっっ♡

だ、だめじゃ…♡
あたまのなか
まっしるに…っ♡

セレスティンさん…
また射精ます…ッ

はぁ♡

すっ♡

はぁ♡

あぁ♡
めい♡

あっ♡
その
ままっ♡

セレスティンさんッ!!!

子宮に入り
切らない程の
子種が膣内につ♡

妾の中全部…
此奴で染め上げ
られていくぅ…っ♡



エルフの民とヒトとの
配合は異種である為
着床率が低く…

数回の交わり
程度で妊娠をする
のは極めて難しい

故に彼らもまた、
子が宿るまで
昼夜を問わず

何時間も
何日も
何週間も

互いを
貪るように
交わり続けた

なんじゃこの
面妖な本は？

そして――

育児教本ですよ
お城の方に頼んで
用意してもらいました

なんじゃ？
随分と気の早い
男じゃのう？

まだ六か月目に
入った所だと
いうのに…

いやあ…一児の父に
なれると思うと
居ても立っても
居られなくて…

これからは夫として
セレスティンさん一筋で
子育てもサポート
していきたいので…

何を言うとするんじゃ？
お主には別の者達とも
子をもうけてもらうぞ？

えっ？

わ、私他の方とも
子供作るんですか？

民の存続の為に
必要な事なのだし…

一人や二人で
済むわけなろう？

た、確かに
そうですが…

…まあ、
でも—

最低でも
二桁は欲しいぞ

ぽんぽん♡



そ、其方が真剣に
考えてくれておるのは
ありがたいし…

わ、妾とて…
そういう気持ちか
無い訳ではないぞ？

だからその…あー…
そ、側室はこれから
増えて行くとしても？

ほ、本妻が妾だと
いう事は他の者には
絶対に譲らんかな？

か
あ
あ

「絶対にこの人を
裏切るマネだけは
しない様にしよう」

彼はこの瞬間
そう誓ったという





セレスティンさん初期案

初期案では装飾にルーン文字刻んでどこかの王様よろしくアクセサリをジャラジャラさせようと考えていたんですが、動かしやすさとか作画コスト等漫画的な事を考慮した結果今の身軽な感じのデザインに落ち着く事になりました。ちなみに冒頭で登場したエルフの子達にも名前とかの設定自体はあったりします、その内漫画で出したいですね。

男が召喚されて
約一か月――

はあっ、はあっ…
せ、セレスティンさん…っ！

先端吸い付くの
凄っ…イイ…
イイです…うっ

あっ、あっ！
そこ穿るのは
ヤバ…ッ

はうっ



はあ…ふう…♥

もう辛抱堪らん…
って表情じゃな？

は、はい…
セレスティンさんの
テクが凄すぎて…

もう何時でも
射精出来ます…

お主はここ数日
動きっぱなしで
疲れておるじゃろ？

今は妾が動くから
楽にしておれ…

ん…

ふ…っ
♡

男性器が弱い所に
引っかかって…っ

こ、腰が…
思う様に…っ

うっ!?こ、
この体勢…

あゝ
かゝ

あゝ
ん

あゝ
ん

あゝ
ん



あっ...
今は妻が...

大丈夫ですよ、
セレスティンさん

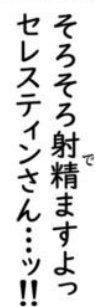
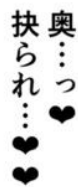
こう見えて私は
体力にはそこそこ
自信があります

それに...貴女の
こんな可愛い
姿を見せられたら...

男としてジッと
待ってるなんて...
出来ませんかね？

うっ...
歯の浮く様な
台詞を言いおつて...

後は...私に
任せて下さい！





注がれてる…
子宮の奥までっ

お主の子種で
満たされてゆく…♡

充足感で…
溺れてしまい
そうじゃ…♡



あ、相変わらずずばい量と濃度の精液を...

それに射精したばかりだとは思えん遅しさじゃ...

あ？

まあ私、この位しか取り柄が無いもんで...

...って、セレスティンさん？どうされました...？

ええ、もちろん！セレスティンさんになら何回でも！

いや、何でも無いぞ？

そ、それより！この様子ならまだ出来るじゃろ？

ふふ...その言葉、後悔するでないぞ？

夜はまだ...始まったばかりじゃからな...♡

あとがき
乱首責めて
人々ね!!



著者

misskey

Twitter(X)

Pixiv

数の子

@kazunoko600@misskey.io

@kazunoko7700

3754927

- 本作品の内容の一部またはすべての無断転載、アップロード等にご遠慮ください。
- 本作品は成人向けの表現を含みます、十八歳未満の閲覧を禁止しております。
- この作品はフィクションです。
実在の人物・団体・事件とは一切関係がありません。

